

20 de Dezembro de 1918 No. 68

號八十六第

日曜金

日十二月二十年七正大

日和西兩時報

一九一八年を送る

世界的大戦の終焉として、世界に特筆大書せらるべき一九一八年は海外に在つて、亡國の民は其の大勢は最早や吾々をして從來も、こゝ僅か十一日を以て暮んとするものなきを見るとき、四年四ヶ月と云ふ長年に、吾々は吾々を擁護する祖國を有の大戦中にも、特に本年は多忙を極し、之に對し最上の責任を負擔し得めた年であつたが、それでも聯合國の大努力の結果遂に獨立を届けしめて平和克復これまで満け付たのは大手柄である。

一九一八年は如何なる星の姻であり、まだ當分は平和互み難し更に大なる覺悟と奮闘と努力の結果遂に獨立を届けしめて平和克復これまで満け付たのは大手柄である。

今次戦争は有史以來の大戦が成立し十一年十一月十七日で三十六日の期間が切れたので、又更に一ヶ月を延長しての弊なきに非ざれば、之は年を改むた十一月十一日に休戦條約が成立した。今年の戦争は、兎に角戦亂の惨害よ幸と云ふべきである。

蓋し戦争は變態で、平和は常態では大であるが、兎に角戦亂の惨害よ幸と云ふべきである。

今年の戦争は、兎に角戦亂の惨害よ幸と云ふべきである。

NOTICIAS DO BRAZIL
Publicado semanalmente
Rua Conselheiro Furtado
No. 89
Caixa Postal H
S. Paulo, Brazil
Proprietario e editor
Seisaku Kuroishi
Assinaturas
por Anno 10\$000
Semestre 5\$500
Mez 1\$000
Semana \$300

農界資料

諸作物の生産費

大なる差を生ずるのである。小農者及びコロノの耕耘勞働と勞働賃銀を支拂へて栽培の業に從事する者と世界的大戦の終焉として、世界の如く孤立排擠を事をするを許さずして、從來も、こゝ僅か十一日を以て暮んとするものなきを見るとき、四年四ヶ月と云ふ長年に、吾々は吾々を擁護する祖國を有の大戦中にも、特に本年は多忙を極し、之に對し最上の責任を負擔し得めた年であつたが、それでも聯合國の大努力の結果遂に獨立を届けしめて平和克復これまで満け付たのは大手柄である。

世界的大戦の終焉として、世界に特筆大書せらるべき一九一八年は海外に在つて、亡國の民は其の大勢は最早や吾々をして從來も、こゝ僅か十一日を以て暮んとするものなきを見るとき、四年四ヶ月と云ふ長年に、吾々は吾々を擁護する祖國を有の大戦中にも、特に本年は多忙を極し、之に對し最上の責任を負擔し得めた年であつたが、それでも聯合國の大努力の結果遂に獨立を届けしめて平和克復これまで満け付たのは大手柄である。

世界的大戦の終焉として、世界に特筆大書せらるべき一九一八年は海外に在つて、亡國の民は其の大勢は最早や吾々をして從來も、こゝ僅か十一日を以て暮んとするものなきを見るとき、四年四ヶ月と云ふ長年に、吾々は吾々を擁護する祖國を有の大戦中にも、特に本年は多忙を極し、之に對し最上の責任を負擔し得めた年であつたが、それでも聯合國の大努力の結果遂に獨立を届けしめて平和克復これまで満け付たのは大手柄である。

鐵血政策の末路

加はつたことは掩ふべからざる事實

もすれば、徒らに眼前の小利に走

に寄する世界の大勢に乗ずべきを忘れらんとする新春に於て、新たに押され、徒らに眼前の小利に走であつて、之に處するには吾々は今合せか、まだ當分は平和互み難し更に大なる覺悟と奮闘と努力の結果遂に獨立を届けしめて平和克復これまで満け付たのは大手柄である。

世界の大戦の終焉として、世界に特筆大書せらるべき一九一八年は海外に在つて、亡國の民は其の大勢は最早や吾々をして從來も、こゝ僅か十一日を以て暮んとするものなきを見るとき、四年四ヶ月と云ふ長年に、吾々は吾々を擁護する祖國を有の大戦中にも、特に本年は多忙を極し、之に對し最上の責任を負擔し得めた年であつたが、それでも聯合國の大努力の結果遂に獨立を届けしめて平和克復これまで満け付たのは大手柄である。

世界の大戦の終焉として、世界に特筆大書せらるべき一九一八年は海外に在つて、亡國の民は其の大勢は最早や吾々をして從來も、こゝ僅か十一日を以て暮んとするものなきを見るとき、四年四ヶ月と云ふ長年に、吾々は吾々を擁護する祖國を有の大戦中にも、特に本年は多忙を極し、之に對し最上の責任を負擔し得めた年であつたが、それでも聯合國の大努力の結果遂に獨立を届けしめて平和克復これまで満け付たのは大手柄である。

世界の大戦の終焉として、世界に特筆大書せらるべき一九一八年は海外に在つて、亡國の民は其の大勢は最早や吾々をして從來も、こゝ僅か十一日を以て暮んとするものなきを見るとき、四年四ヶ月と云ふ長年に、吾々は吾々を擁護する祖國を有の大戦中にも、特に本年は多忙を極し、之に對し最上の責任を負擔し得めた年であつたが、それでも聯合國の大努力の結果遂に獨立を届けしめて平和克復これまで満け付たのは大手柄である。

世界の大戦の終焉として、世界に特筆大書せらるべき一九一八年は海外に在つて、亡國の民は其の大勢は最早や吾々をして從來も、こゝ僅か十一日を以て暮んとするものなきを見るとき、四年四ヶ月と云ふ長年に、吾々は吾々を擁護する祖國を有の大戦中にも、特に本年は多忙を極し、之に對し最上の責任を負擔し得めた年であつたが、それでも聯合國の大努力の結果遂に獨立を届けしめて平和克復これまで満け付たのは大手柄である。

戸籍届出方に就て（九）

帝國總領事館 成瀬 廉

形其の一の終りの方に右協議離縁ニ同意候也

養父松次郎ノ父 成瀬 環印 同 母 成瀬 花印 嘉永元年五月貳日生

本籍 東京市本郷區向ヶ岡彌生 養子離縁居（離形其二）現住所 伯國サヲバウロモヂアナ線ヴィラアルベルチーナ駢グアタバラ耕地

町參番地戸主平民環長男農

書は次の様になる。

親と養子に代りて離形の承諾を爲す

権利を有する者即ち離形の時家にあ

る父母との協議に由るので從つて届

出する。

書は次の様になる。

親と養子に代りて離形の承諾を爲す

権利を有する者即ち離形の時家にあ

る父母との協議に由るので從つて届

出する。

書は次の様になる。

親と養子に代りて離形の承諾を爲す

権利を有する者即ち離形の時家にあ

る父母との協議に由るので從つて届

出する。

書は次の様になる。

親と養子に代りて離形の承諾を爲す

権利を有する者即ち離形の時家にあ

る父母との協議に由ので

り從つて届出する。

書は次の様になる。

親と養子に代りて離形の承諾を爲す

権利を有する者即ち離形の時家にあ

る父母との協議に由ので

(二)

一日四回にう。一才の方は、下腹部を温め、物は特別に、なつて此子、なつて此子、が壯健で、病氣をした、ありますま、に氣が附き、霜を費して作り上げたは、日本にわざと、あるだけに、毎夜伯語研究會に出席して、葡語を教ふるの傍ら三ヶ年の見事に神經に素人に治甘二年に伯國の練習艦隊が始めて横濱に來航した時に、氏は一商店店員でありますま、とせん尋ねて、英語を解せる所から、乗組船員として、一行の通譯に抜擢せられて、日光、箱根邊りを案内した緣故より一行で、すぐ腎臓懸念の仲となり、特に國王の命を要かと考へる、語学研究の爲め乘艦し居られたる、王子の歎く所となり、王子の歎く所となり、無く痛めで、だつたら大に乞ふも容れられられず、止むなく長崎に通過頃より、走つて貴ふに走つて同軍艦の長崎寄港を待ち、船上に角詳しき百方嘆願遂に艦長の許しを得て同頭も無く痛めで放拋せしが、なり益々、危害の及ぶを慮かり、軍艦は目的を達する事無き、（繩田氏）に發熱あり、此儘にして、念有之候は手術して考へらる。

▲氏は始めリオ港に着し、知合ひの壁長の紹介にて同港内の海軍機關學校に入り、將來は天晴れ海上の人として、命起るに會し而かも此の度の首魁は該機關學校長たりし所より校長は活躍せんものと刻苦勵怠りなかつた。

しが天此の人に幸ひせずとも云々べきか、超へて一八九一年の第二回、命起るに會し而かも此の度の首魁は該機關學校長たりし所より校長は活躍せんものと刻苦勵怠りなかつた。

▲當時リオは歐米の人呼んで「死門」と云ふ程黃熱病激甚の土地であつて、として歴代の爲めに努めに在る伯

はわい丸便乗呼寄移民

我慢の四階級

我慢の四階級

社会教育家として有名な新渡戸博士が著した『我慢の四階級』を読んで人間に我慢がなかつたら自殺する以外がないこれまで梅論して居られますか如何にも其の説方が親切で吾々を益すること少くないと思ひますから此處に紹介致します（一記者）

僕は何人に對してもよく云ふことで世家の極端なるものゝ如く思ふものがあるが、我慢なもののがあればこゝ故に我慢なき者は自殺するより外に道がないこゝかく言ふなら或は僕を以て非常なる悲觀論者であつて、厭世家の極端なるものゝ如く思ふものであるが、我慢なもののがあればこゝ世を厭うが、我慢なもののがあればこゝ世を厭う必要もない。樂觀的に人生を見ることが出来る。即ち我慢なるものを見ゆるものを人生に缺くべからざる要素見出さるを得ない事になる。抑も人生は倫理と物理との間を通り行くやうなものである。否そこで二の理をわづて一にせねば渡らぬものである。彼の有名なるカンドガ理性と純粹理性と實際理性との二に分けた所を考へても、人生は二様も百にも分けなければならぬが、これは單に理解し易からしむる爲にして、此等を皆合せて始めて成る様なもので、人生も亦一束として見ねばならない。

洗濯する時、袖と胸、裾と襟等に分けるけれども、一枚の衣服とする時に人生は辛いものなり。いふことを聞けば、人生も亦一束として見ねばならない。

爰に人生は辛いものなり。いふことを聞けば、人生も亦一束として見ねばならない。

心ならずして待つ。而も其心ならざることは、心の問題である。僕は待つ人々の心の問題である。これは最も普通のガマンの仕方であつて、抵抗も出来ず、逃げることも出来ぬから、止むを得ずある。

◇我慢の仕方に四階級あり

家康の遺言をした人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如しこ云ふ感若しさらには此考を有たぬものありとすれば、それは人生の何ものたるか

◇敵愾心を含んだ
戯謔の土方

第二にガマンをするに大きな忍耐心を含んで爲る人がある。敵愾心とは一種の怨である、俗語で云ふと覺えて居れ、何時かは仇を討ち怨を晴らすぞと云ふが如き觀念を以て物を思ふ輩である。これも亦少くない。甚だしきに至つてはそれだけの望み力となりて他に何等の考もなく單に復仇の時を待つもある。この復仇を樂としてガマンする者は、一寸一見した所では深き思慮あり大きな志ありてガマンする者と區別がつかない、韓信が淮陰で少年の侮を受け、その股をくぐり、一瞬間に云へ其恥辱をガマンした心地はかかる少年どもを對手とする氣もなく、自分は恥とも思はなかつたからであらう。テンデ頭から對手と思はなかつたのである。彼等の目の前では如何にも困つた恥しいやうな顔をしてあらう、韓信ならこそさうであつたなが、腹の中では一種の喜劇を演ずる心地して、股の下をくぐる時には赤い舌を出して自分がから笑つたであらう、韓信ならこそそこまで爲つたなが、韓信より小さな人間であつたなら、この場合、恐らく後日志を成した時には、この恥を十倍にして醜に出で来て嘲罵と共に其面に唾したが

第四の種類として僕の云はんとするに煩悶なり艱難なりを悉く神の化する清淨にし艱難そのものを艱難にし人間の心は腹の空に人間の心は腹の空に衣服が空に飯が食ひ難い。併し之を以て最上のガマンの階級であるとは思はれない。

◆最上級の我慢

◆雲間の月を待つ
小池の戯漫

有名の裁判官であつた。西郷隆盛に面會せよとされ、彼の人物に會ふて只感心するやうで、は駄目だ、此次我西郷に面會せよとされ、必ず屈伏してやる』と、或時丸山作樂の獄起り、西郷が彼と親交があつたので、島本は大に西郷を詰つた。西郷更に鋭く遂に西郷を呼ぶに國賊の二字を以てした。西郷は手を膝に頭を垂れて請聽してゐたが、島本は得意になり彼は屈したものと思ふて詰めた。其後人あり西郷に向ひ、彼は才學を持み奇辯を弄し司直の府に置くべからざる人であると云ふや、西郷色をして曰く『それは怪しからぬ誤解である。拙者始めて先日島本に面會したるに直言硬骨、面を穿つて諫められた。思ふに司法省内、今日彼にて諫めた。思ふに司法省内、今日彼以上的人物はあるまい、司直の職は最も適任であると、此事を傳へ聞き島本は天を仰いで嘆息し、我が西郷に及ばざること遠達しこ。

◇我慢を人生に注

、ふが、
初しき目
近來は金
物理で倫
知め云々^{云々}
水はしま
人をのん
始めて
はなれ
て營^營
段と云々^{云々}
如何とも
によりて
種類だ
ら種類だ
る。種類だ

◆瓜之部
○ちりめん南瓜○
瓜○極早生黒瓜皮西瓜(スイカ)
千成胡瓜○大ヘ
りむむ○まうんて
うがほ○大長ゆ
〇以上一合二ミル
◆豆之部
○白八房いんば
無いんげん○白草
豆○鉛成いんげん
いんげん○お多
合二ミル五百
●貸本可仕候
ラジル時報
聖市コンデ
サルゼー
木き
大澤齋油取次所
R. C. Se
Caixa

卷之二

◆大根之部

トツ
今 宮重長 大〇練馬丸尻大根〇同大長良大根〇練馬秋マツリ大根〇黄二十日大根〇守口大根〇聖護院大根〇方領大根〇晚生櫻島大根〇以上一合二ミルので五百宛

◆蕪之部

ラモ
は感 河島菜〇直隸白菜〇白菜〇天王寺かぶ〇小松菜〇千筋京菜〇山東菜〇朝鮮白菜〇白菜〇白基體菜〇絆のかぶ〇近江かぶ〇湖南かぶ〇大長がぶ〇時なしかぶ〇黄金かぶ〇大平草ふだん草〇日本ふだん草〇たかな〇結球山東菜〇聖護院かぶ〇大王白菜〇ちりめんのう〇早白菜〇黄からしな〇葉からしな〇以上一合二ミル五百宛

日本金兩替

● 金銀貨多少に拘らず取替可申上候
● ブラジル語獨習
紙數三百十二頁 送料共六ミル
發行所 東京 稀英舎
内單語大數多なり本書にグラジル語にて
英語、日本語の三國會話に出来居るかすら
故英語の素養ある御方には殊に便り
見えずも未だ曾て本書右に出る良書
土佐録及大工道具類化粧品書籍類
◆ 各種種物
◆ 大根之部
平莢豐玉大根〇改良丸尻宮重〇改良
宮重長大〇練馬丸尻大根〇同大長大
根〇練馬秋マツリ大根〇黄二十日大
根〇守口大根〇聖護院大根〇方領大
根〇晚生櫻島大根〇以上一合二ミル
五百宛
◆ 蕃之部
大王かぶら〇結球豐玉白菜〇白莢三
河島菜〇直隸白菜〇白菜〇天王寺か
ぶ〇小松菜〇千筋白菜〇山東菜〇朝
鮮白菜〇白基體菜〇紺のかぶ〇近江
かぶ〇湖南かぶ〇大長がぶ〇時なし
かぶ〇黃金かぶ〇大平莢ふだん草〇
日本ふだん草〇たかな〇結球山東莢
〇聖護院かぶ〇大王白菜〇ちりめん
白菜〇黃からしな〇葉からしな〇以上
一合二ミル五百宛
◆ 瓜之部
○ちりめん南瓜〇大菊座南瓜〇大胡
瓜〇極早生黒川南瓜〇西京南瓜〇墨
皮西瓜〇スイクワ〇まくわうり〇黄金
成胡瓜〇大へちま〇西瓜あいすく
りぬむ〇まうんてんすーど〇大丸〇
うがほ〇大長のうがほ〇大どうがん
〇以上一合二ミル五百
◆ 豆之部
○白八つ房いんげん〇赤刀豆〇赤葛
豆〇鈴成いんげん〇お多福豆〇大玉
いんげん〇お多福いんげん〇以上二
合二ミル五百
● 貸本可仕候
ブラジル時報市内申込所
聖市コンデ
サルゼーダス街五一番
木藤商會

◎各國電報

◇休戦條約延期

ホーリー九帥は去る十三日トレヴァエスに於て左の休戦條約延期覺書を交換せり

第一條 一千九百十八年十一月十一日締結せる休戦條約の有効期間を一ヶ月即ち一千九百十九年一月十七日前五時迄延期す、延期は和平條約概項設定に至る迄の期間にして聯合國政府のアド、レフエレンツムたるべし

第二條 十一月十一日設定せる條項にして未だ實施せざるものには休戦條約延期間に於て萬國休戦委員會及び聯合國の訓令の下に結了せしむべし

第三條 十一月十一日設定せる條項にて未だ實施せざるものには休戦條約延期間に於て萬國休戦委員會及び聯合國の訓令の下に結了せしむべし

聯合最高司令部が新に保證を要すと認むるときは其の必要に應じ本日以降ライアン河右岸なるコロニヤ橋頭の北部より和蘭院國境に至る中立區域を占領すべし。此の占領は六日前に聯合最高司令部より豫告す。(巴里發十四日電)

◇ウヰルソン大統領ブレスト港着 ウヰルソン大統領

が搭乗せるデヨン、ワシントン號は五十餘船より成る聯合艦隊に護衛されて去る十三日アレストに入港せり、ワシントン號水平線に現はるゝや北米駆逐艦二十六艘は同港より出でて之れを迎へ港外に整列せる聯合別艦隊は一齊に二十一發の禮砲を放ちて大統領の安着を祝賀したり。(ブリスト發十三日電)

◇葡大統領暗殺さる 葡萄牙大統領シドニオ・ハエス氏はボルトへ出發すべく乗車せんとする刹那一兎漢の爲めに短銃にて三發狙撃され數分間の後絶命せり(リスボン發十五日電)

◇日本代表者出發 佛國ヴエルザイユに於て開催せらるべき平和會議に列席する日本代表者の一行は本日巴里へ向ひ出發したり(東京發十五日電)

◇獨逸の死傷統計 ハンデルスブラード紙の発表せる處に依れば大戦に於ける獨逸の死傷は極めて多數にして戦死者百六十萬人、負傷者四百〇六萬四千、捕虜となりたり(アムステルダム發十八日電)

◎雑報

●伯國代表決定 平和會議に伯國を代表すべく交渉を受けたるルイ・バルボーザ氏は政府よりの交渉遅延の爲め一國を代表するに足るべき準備なし能はざること理由の下に拒絶したるを以て上院議員エビタシオ、ペソア氏新に任命されたるルイ・バルボーザ氏は政府に依り去る十日就任せられたり

●新大統領就任 ロドリーグス、アルグエス新大統領當市在留の佛國人は去る十四日夜ア

は病氣の爲めガラニングターの閉地に静養中なりしが健康全く回復して戰捷祝賀會を催し聯合國の主なる

内田外相幹事長となり人々を招待して盛大なる祝宴を開け

る由なるが日本人側よりは松村總領事を始め信夫、熊坂、田口、狩谷、黒石の諸氏出席せりと云ふ

は廿九日 入港

昨朝移民組合支部へ達したる電報に據れば移殖民を搭載せる『はわい丸』は愈々本月十六日ケープ、タウンを出帆サンタスへ向ひ直航せる由なる

が同船のサントス着は来る廿九日の豫定にして又同港に於ける荷役終了後直ちにブエノス、アイレスに至り

其れよりリオに引き返へす順序なり

云ふ

流行感冒にて薨

去せる土方久元伯 桑港近信に據ればグリッベ、エスパニョーラにて危篤なりし土方久元伯は十一月四日遂に薨去せられたり危

後直ちにブエノス、アイレスに至り

和克復の感謝を更に一層深からし

はしい此の日の行列はざんよりこし

たお天氣と調和して戰捷の歡喜と平

處よりもれ聞え洵に穏かな上品な麗

めたのであつた

はしのこの日の行列はざんよりこし

たお天氣と調和して戰捷の歡喜と平

處よりもれ聞え洵に穏かな上品な麗

めたのであつた

はしのこの日の行列はざんよりこし

たお天氣と調和して戰捷の歡喜と平

處よりもれ聞え洵に穏かな上品な麗

めたのであつた

はしのこの日の行列はざんよりこし

たお天氣と調和して戰捷の歡喜と平

處よりもれ聞え洵に穏かな上品な麗

めたのであつた

はしのこの日の行列はざんよりこし

たお天氣と調和して戰捷の歡喜と平

處よりもれ聞え洵に穏かな上品な麗

めたのであつた

●各省次官及其他の任命

熱狂的の萬歳の聲は漸時鳴りも止まず、散會せし時は丁度五時であつた當日殊に日本人團體の小き國旗を幾

枚持てて其の後各省次官及び他の他

所なるが其の後各省次官及び他の他

の任命を聞くに左の如くである

九月廿九日叙任せられたる原内閣の

顔觸は其の當時本紙にて報道せる

所なるが其の後各省次官及び他の他

の任命を聞くに左の如くである

九月廿九日叙任せられたる原内閣の

顔觸は

